



世界水産物連盟ニュースレター

2023年7月



ジャパンインターナショナルシーフードショーへの出展

2023年8月23日から25日にかけて東京ビッグサイト東館で開催予定のシーフードショーへ出展致します。

小間番号はX-60、水産エコラベルコーナーに出展致します。

BAP認証商品や資料、BSP認証資料を展示しておりますので、会場にお越しの際は是非お立ち寄りください。



ホーチミンにてシュリンプサミットを開催致しました

2023年7月24から26日にかけて、ベトナム ホーチミン市にて、シュリンプサミットを開催致しました。

シュリンプサミットでは、世界の水産物バリューチェーンが一堂に会し、持続可能性と気候変動に焦点を当て、生産量の停滞から生産者の生活まで、アジアをはじめ世界各地のエビ養殖が直面する重大な課題についての議論を行いました。

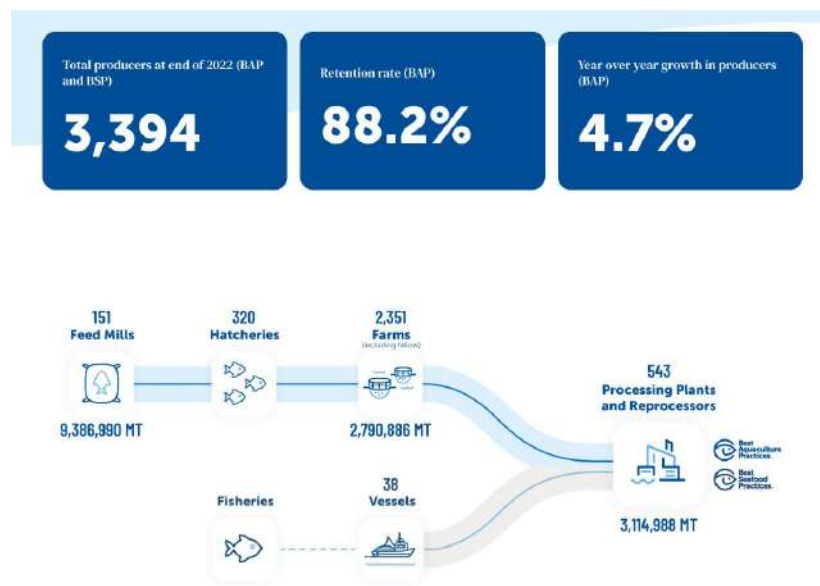
「エビ養殖の父」故藤永元作先生へのご子息を通じてのLife Time Achievement賞の授与も行われました。第二次世界大戦後の20年間で、藤永先生は今日のエビ養殖技術の基礎となっている、エビの産卵、幼生飼育、育成に関する精髓的な技術を開発しました。こうして藤永先生は「エビ養殖の父」と呼ばれるようになり、日本はエビ養殖産業発展の発端となりました。藤永先生とその同僚たちの功績は広範囲に及び、その関連性は永続的です。



2022年のGSA年次レポート発行

- GSAのメンバーシップ・プログラムは、8,500を超える会員とパートナーを誇り、企業会員は40を超えます。
- GSAの年次イベントは2022年に米国シアトルで開催され、2019年のインド・チェンナイ以来となる340人以上の専門家やリーダーが参加した。アドボケート誌は2022年に120万ページビューを超え、アクアデミアポッドキャストの年間ダウンロード数は2021年から195%増加しました。
- BAP認証の継続率は88.2%に達し、2022年末の生産者数は前年比4.7%増となった。BAP認証は、複数のエンドーサーやインフルエンサーと初の消費者キャンペーンを実施した。このキャンペーンのリーチは全体で73億を超えた。年次レポートには、消費者キャンペーン結果の完全な内訳が記載されています。さらに、GSAの天然水産物に対する第三者認証プログラムであるBSP (Best Seafood Practices) では、60以上の漁船と加工業者が認証を取得しました。

2022年度年次報告書へのアクセスは[こちら](#)、または以下の画像をクリックしてください。



BAP認証では最終店舗加工でもロゴが引き継げます！

BAP認証ロゴを新たに使用する際は使用方法確認のため芝井 (kota.shibai@globalseafood.org)までご連絡ください。

BAP認証ロゴ使用の際は [ロゴ使用ガイドライン](#) に沿った使用が必要です！

レストラン、ホテル、食堂の店舗キッチン、小売・量販店のバックヤードなど、最終消費現場(消費者への提供まで物理的に距離が無い前述の様な現場)での加工の場合 BAPロゴを追加費用なく引き継ぐことが可能です。

キッチン、バックヤード向けの運用手順をまとめました。

社内、お取引先様への提案の際などにご活用ください。

※データをご希望の方は芝井までご連絡ください。



レストラン、ホテル、食堂などの 最終店舗キッチン加工向け

▶ 事前確認のお願い

新しくBAP認証ロゴを使用する際は事前にGSAスタッフ(芝井)との確認が必要です。
kota.shibai@globalseafood.org



BAP(Best Aquaculture Practices)認証とは、
養殖水産物の心臓、飼料工場、養殖場、加工工場を対象とし、その全ての段階において
環境や社会への責任、養殖される魚介類の健康、食料安全を確保する認証制度です。消費者
の健康にはBAP認証ロゴを「責任ある養殖水産物の証」として識別する必要があります。

※BAP認証ロゴは該当する養殖水産物にのみ使用することが可能です。ロゴガイド
ラインに沿った、適切なロゴの使用をお願いいたします。

チェック手順



納品されたパッケージにはBAPロゴ
とCERT#12345のような5桁の認証
番号が必ず付いています。BAPロゴ
と認証番号を確認(以下3パターン)



生産者検索ページで
認証番号が有効か確認
www.bapcertification.org/Producers



該当の商品にのみBAPロゴ
を使用することが可能



スターロゴケース



認証番号付星型ロゴマークケース



ロゴと認証番号が別々のケース

▶ BAPのロゴマークをメニューに使用する場合には、
以下の点に注意してください。

※BAPの魚マークはBAP認証を取得した生産者から調達した
養殖水産物を使ったメニューの各目の横に表示してください。

※メニュー上に説明欄を設けて、BAPのロゴマークがどのような
意味を持つのかを来店客に伝えてください。



使用例

① レストラン、ホテル、食堂など最終消費現場(キッチン)で複数の水産物を使ったメニューを提供する場合(例:エビ、鮭、イカを
使ったシーフードチャーハン)。使用される一組の水産物がBAP認証であればBAPロゴマークを使用することができます。可能な
限り、どの水産物がBAP認証なのかを明示してください。※このシーフードチャーハンのエビはBAP認証を取得した食材です。



小売・量販店の 最終店舗バックヤード加工向け

▶ 事前確認のお願い

新しくBAP認証ロゴを使用する際は事前にGSAスタッフ(芝井)まで確認をお願いいたします。
kota.shibai@globalseafood.org



BAP(Best Aquaculture Practices)認証とは、
養殖水産物の心臓、飼料工場、養殖場、加工工場を対象とし、その全ての
段階において環境や社会への責任、養殖される魚介類の健康、食料安全
を確保する認証制度です。
消費者の健康にはBAP認証ロゴを「責任ある養殖水産物の証」として認
識する必要があります。

※BAP認証ロゴは該当する養殖水産物にのみ使用することが可
能です。ロゴガイドラインに沿った、適切なロゴの使用をお願いいたします。

チェック手順



納品されたパッケージにはBAPロゴ
とCERT#12345のような5桁の認証
番号が必ず付いています。BAPロゴ
と認証番号を確認(以下3パターン)



生産者検索ページで
認証番号が有効か確認
www.bapcertification.org/Producers



該当の商品にのみBAPロゴ
を使用することが可能



スターロゴケース



認証番号付星型ロゴマークケース



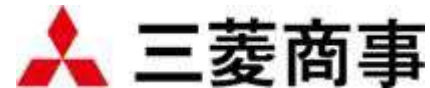
ロゴと認証番号が別々のケース

使用例

① 店舗キッチンで調理するアソートの寿司/パスタなどで、複数の水産物を使う場合、使用される一組の水産物がBAP認証で
あれば専用のロゴマークを使うことができます。可能な限り、どの水産物がBAP認証なのかを明記してください。
※この食品の中のサーモンはBAP認証を取得した水産物です。

② BAPロゴと認証番号が付いた冷凍エビの1kgパックが製品されたバックヤードで解凍して小分け、リパックして陳列する場
合、該当食品に対してはBAPロゴを引継ぎして頂くことが可能。(MDシールに貼るなど。)

国内BAPエンドーサー企業一覧



大林組

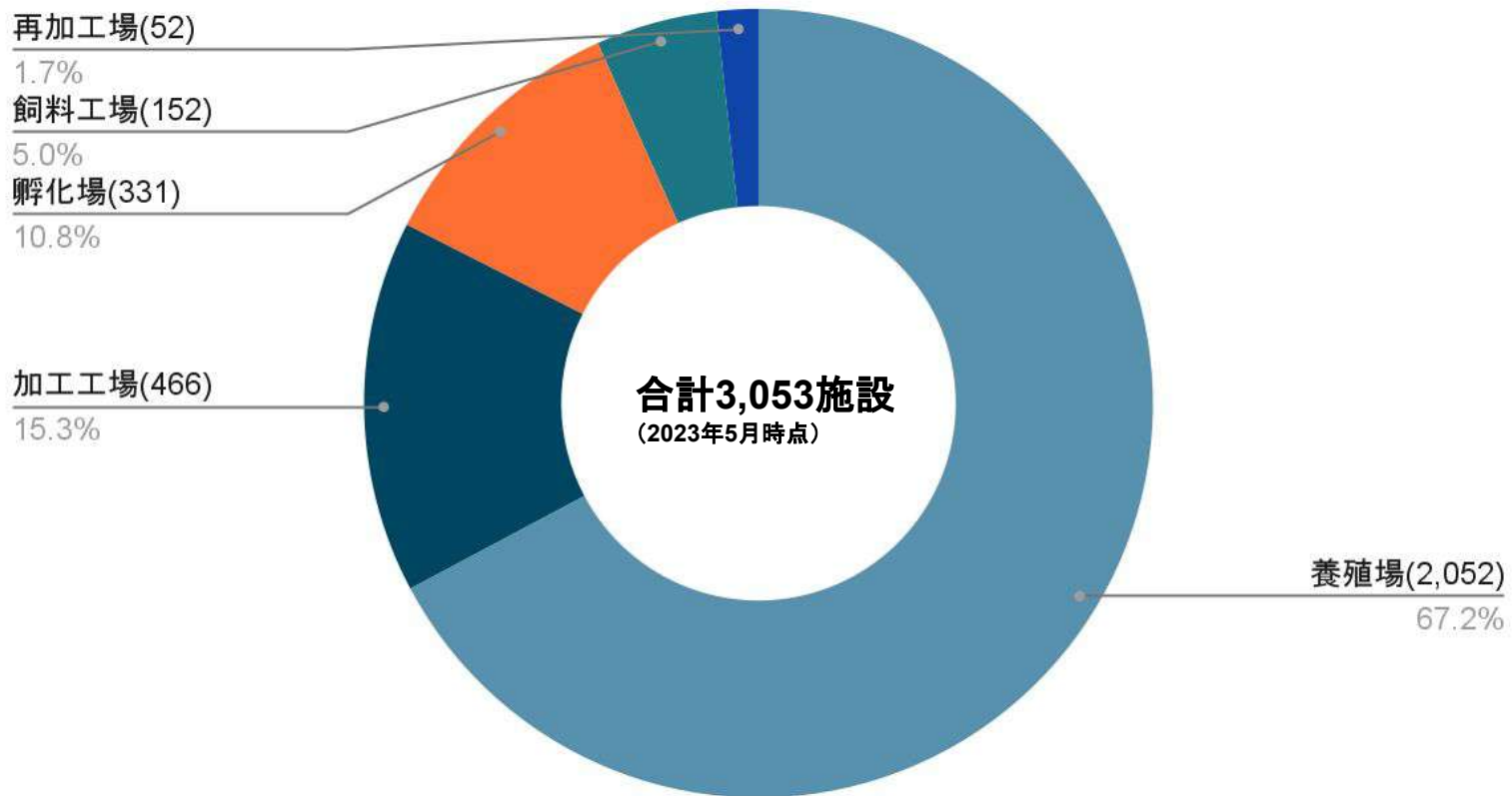
AUDACE



※一部企業を掲載

世界でのBAP認証施設数

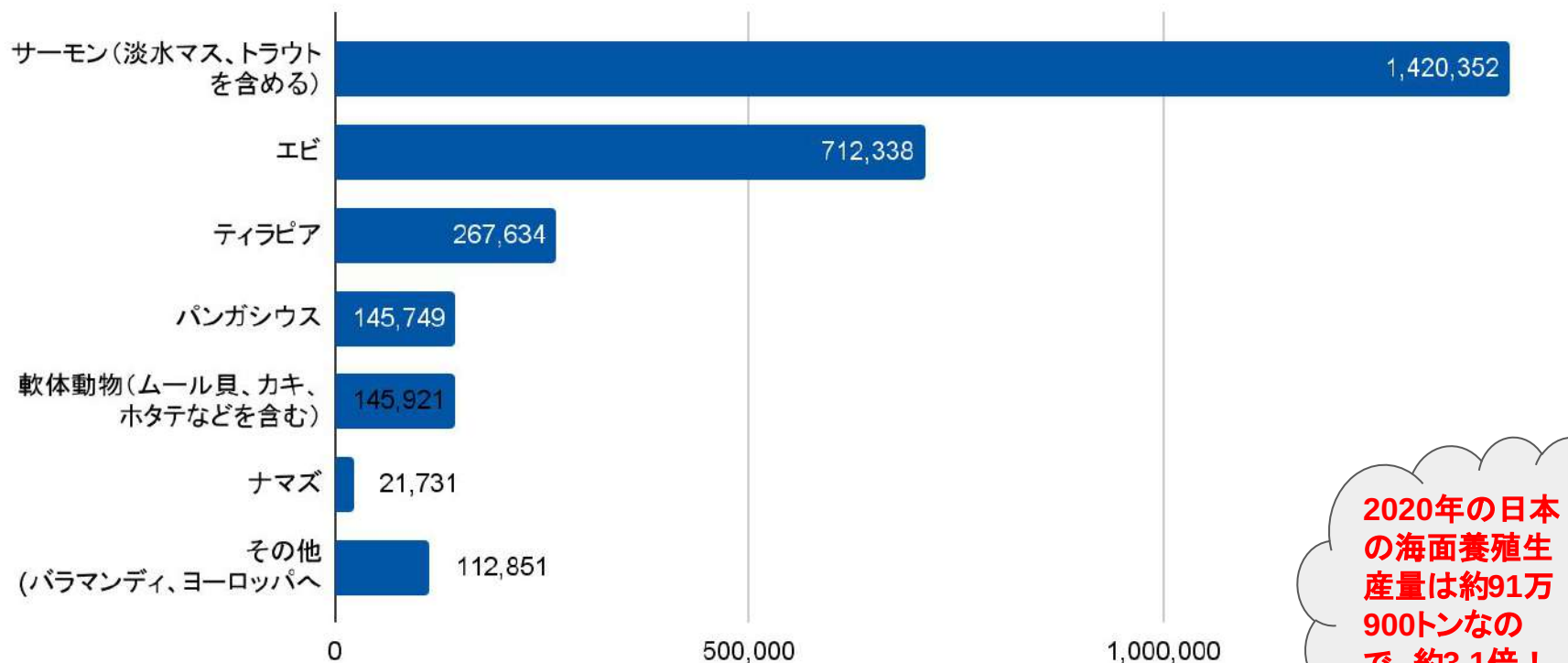
世界でのBAP認証施設数(2023年5月時点)



2023年5月時点のBAP認証施設数は3,053件です。
※こちらの数字は各施設の直近の監査結果より集約されております。
日本での取得施設は加工工場1件、養殖場1件の合計2件。

魚種別のBAP認証生産量

2023年5月時点（単位：トン）



2020年の日本の海面養殖生産量は約91万900トンなので、約3.1倍！

2023年5月時点、BAP認証水産物の世界合計は282万6576トンです。
36カ国で30魚種を認証済み。

※こちらはBAP認証を取得している全養殖場の直近の監査結果からの数字です。

BAP認証フェアの企画大募集中です！

BAP認証を運営するGSAではマーケティングサポートも積極的に行っております。
共同でのイベントをご希望の方は日本マーケット担当芝井までご連絡下さいませ。
それぞれのイベントのご要望に合わせて打ち合わせをさせて頂き、必要に応じてポスター、ポップ、
その他ビデオ、ステッカー等々を 無料にてデザイン、納品致します。
※必要枚数の印刷に関しては各企業様でご負担を頂けますようお願い致します。



Front (4" x 6")



Back (4" x 6")

マーケティングサポート用にご用意ができる資料は以下をご参照下さいませ。

<https://drive.google.com/file/d/1COWGrAKVCVoEldZzmsOcSIXJZHcQ5-5h/view?usp=sharing>

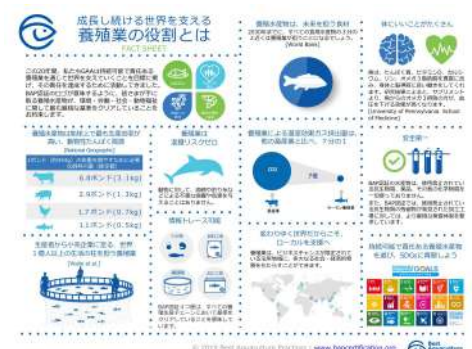
BAP認証の日本語版の各種資料について

BAP認証に関する日本語の三つ折りパンフレットや、各種資料を以下のリンク先より無料ダウンロードすることができます。是非ご活用下さいませ。

<https://info.globalseafood.org/ja-jp/bap>



GSAとBAP認証のご案内



養殖漁業ファクトシート



BAP認証ロゴマーク使用ガイドライン



2020年次レポート

BAP認証の日本語ロゴについて

BAP認証の日本語版ロゴを用意しております。
利用をご希望の方は芝井までお問い合わせください。
kota.shibai@globalseafood.org



魚と人の
未来のために



責任ある
養殖水産物の
国際基準



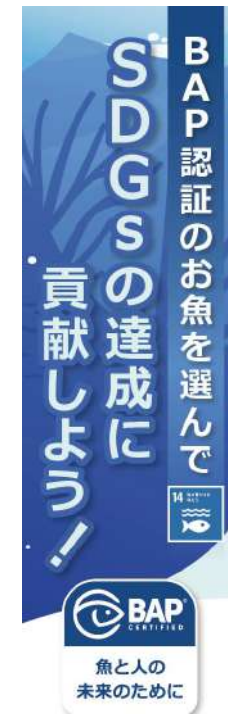
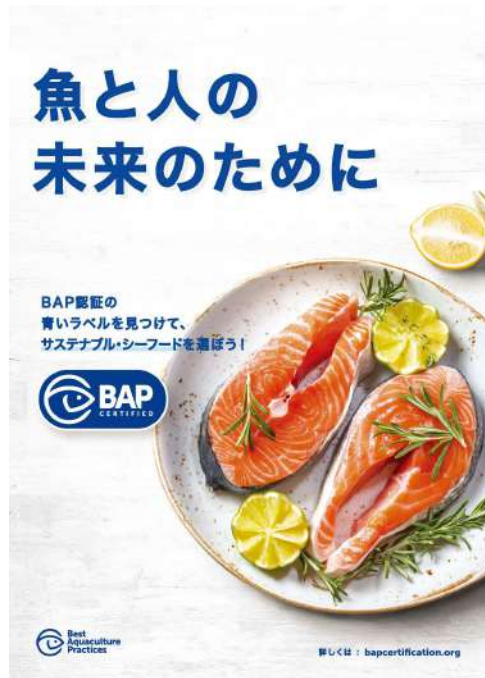
国際基準を満たした環境で
養殖されています



海と魚を守る安心の
BAPマーク



きれいな海で獲れた健康な
魚介類の証



ニュースレターに関するお問い合わせは以下までお願い致します。
※二次利用をご希望の方はお問い合わせ下さいませ。

世界水産物連盟 日本マーケット担当
芝井 幸太

メールアドレス：
kota.shibai@globalseafood.org

電話番号：
080-2167-0086

BAP認証ウェブサイト
<https://japan.bapcertification.org/>

※配信停止をご希望の方は、こちらまで「配信停止」とご連絡くださいませ。

